

会 議 録

名 称		令和7年度 松山市子ども・子育て会議 教育・保育部会（第1回）
事 務 局		こども家庭部保育・幼稚園課 T E L 0 8 9 （ 9 4 8 ） 6 2 2 4 F A X 0 8 9 （ 9 3 4 ） 1 0 2 1
開催日時		令和7年7月30日（水） 午後3時10分～午後4時25分
開催場所		松山市保健所・消防合同庁舎6階 中会議室
出席者	委 員	池田秀彦、宇津見亮子、大原淑子、鬼頭裕美、小助川元太、田中美紀、中岡彩、中川恵津子、二宮一朗、安永耕造 （五十音順、敬称略） 計10名
	事務局	保育・幼稚園課 課長 西田光晴 ほか12名
議 題		「第2期松山市子ども・子育て支援事業計画」の令和6年度実施状況等について ほか
議事内容		1. 開会 2. 委員及び事務局職員紹介 3. 報告事項 （1）「第2期松山市子ども・子育て支援事業計画」の令和6年度実施状況について ①第4章「施策の展開」部分 ②第5章「地域子ども・子育て支援事業等」部分 （2）令和7年4月1日時点待機児童数について 4. 協議事項 （1）乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の「量の見込み」と「確保の内容」について （2）令和7年度利用定員の設定について（臨時分） 5. その他 連絡事項等 6. 閉会 【委員からの意見等（抜粋）】 報告事項（2）令和7年4月1日時点待機児童数について 委員：愛媛県も松山市も保育士を確保しようと努力しているが、方向性が一致していないため、力が分散している気がする。保育士確保に向けて、幼稚園・保育所・認定こども園の各団体、養成校、自治体などが集まる機会を中核市である松山市が旗振り役になって作ってほしい。 事務局：愛媛県主催の話し合いの場や愛媛県社会福祉協議会とも保育士確保について話し合いを行っている。今後も新たな保育士確保策を考える際には関係機関と連携して周知等に努めていきたい。 協議事項（1）乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の「量の見込み」と「確保の内容」について 委員：計画期間中に数値の見直しは予定されているのか。 事務局：令和9年度に中間見直しを行う予定である。 協議事項（2）令和7年度利用定員の設定について 委員：今回の国の制度改正が待機児童数の増加につながる可能性もあると思うが市の考えを聞かせてほしい。 事務局：国の制度改正が直ちに待機児童数に影響を及ぼすとは考えていない。定員超過の適用を受けるような園については、今後協議をしながら、利用実態に応じた定員を設定していただきたいと考えている。今の利用定員の確保数は保育士等が不足して受入れできないということが無い限り、一定担保できるものと考えている。

	委員：国は待機児童対策から質の高い保育へと方針転換しており、施設を運営する側としては、今回のように国の急な制度改正があると、今後の児童の受入れも考えるようになると思う。 事務局：利用定員を実態に合わせて設定してもなお運営が厳しいのであれば、自治体も国に対して声を上げたいと思っている。 ●協議事項(1)及び(2)に関して、事務局案のとおり承認。
備 考(資 料)	(配布資料) ・令和7年度 第1回 松山市子ども・子育て会議 教育・保育部会 次第 ・松山市子ども・子育て会議 教育・保育部会 委員名簿 ・資料1:「第2期松山市子ども・子育て支援事業計画」の令和6年度実施状況について ～事業計画第4章「施策の展開」部分～ ・資料2:「第2期松山市子ども・子育て支援事業計画」の令和6年度実施状況について ～事業計画第5章「地域子ども・子育て支援事業等」部分～ ・資料3: 令和7年4月1日時点待機児童数について ・資料4: 乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の「量の見込み」と「確保の内容」について ・資料5: 令和7年度利用定員の設定について(臨時分)
公開・非公開	全部公開 部分公開 非公開
傍聴者数	0 人 (2 席)